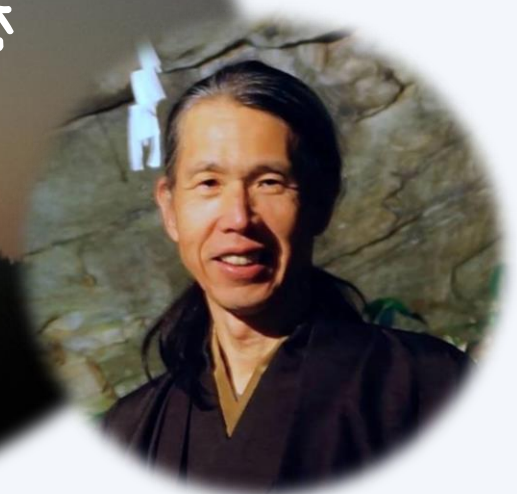




撮影：熊野雅夫

寺山心一翁 & 清水友邦 講演会&ワークショップ in 花巻 ～意識の変容と愛の気づき～



@健考館

(花巻市石鳥谷町松林寺 3-81-13)

講演会

2018年8月26日(日)

13:00~15:00(12:30 開場)

参加費 3,000 円 (当日 3,500 円)

(定員 50 名)

ワークショップ

8月26日(日) 15:30~27日(月) 16:00

参加費 22,000 円

+ 宿泊料(三食付) 8,760 円

(定員 25 名・要予約)

★楽しみにお待ちしております

寺山心一翁先生が再び花巻に来てくださいます。末期がんから生還され、長年にわたり「愛と気づきの講演とワークショップ」を行ってられる寺山先生にお会いできるまたとない機会です。



寺山先生の著書「フィンドホーンへのいざない」を読んでいつかはお逢いしたいとあこがれながら、すっかりと棚上げしていましたが、地元在住の清水友邦先生の企画で参加した、2016年の花巻での寺山先生と清水先生の講演＆ワークショップは感動そのものでした。

時に心静かに呼吸をしたり、時に笑顔でゲームをしたり、輪になって踊ったりと、実際に五感で感じる講演とワークショップは、誰もが気軽に参加できる内容ですが、知識や理屈ではなく、自らの内なる声を聴き・内なる命を感じる知恵へとつながる体験でした。あの感動をまた皆さんと体験できたらと思います。会場となる健考館には温泉があり、健康づくりに優れた4種類の湯船をお楽しみいただけます。お食事は、お肉やお魚・卵や乳製品を使わないビーガン料理をお楽しみいただけます。お近くにいるだけで心がポカポカしてくるような、両先生の魅力を直接会って感じて頂けたら嬉しいです。

★ワークショップ内容

- * 身体の声を聞いて身体感覚を取り戻すワーク
- * 背骨をゆるめるワーク
- * 体の緊張を解放するワーク
- * 心の扉を開く呼吸法
- * 今ここにいる瞑想
- * 意識の変容を促すワーク
- * シェアリング
- etc

★ワークショップ タイムテーブル

- 26日 15:30~18:00 ワーク①
19:00~21:00 交流会(食事付)
- 27日 早朝 日の出ツアー(自由参加)
<朝食>
9:00~12:00 ワーク②
<昼食>
13:00~16:00 ワーク③
- ☆コマ参加も可能です。
(1コマ10,000円)
- ☆宿泊されない方の交流会費(食事代)は2500円です。(要予約)

★寺山 心一翁 (てらやま・しんいちろう)

1936年東京生まれ。小学4年から中学2年まで、父の転勤に伴い家族で盛岡に住む。

早稲田大学卒業後、東芝で半導体素子の開発・製造などを担当。その後、いくつかの仕事を経て、経営コンサルタントとして独立。仕事が多忙を極めていた48歳の時、腎臓ガンとなる。末期状態となるも、多くの気づきから、ホリスティックな癒しでガンが治癒。病の回復過程で、様々な気づきと意識の変化を体験し、ガンは自分が作ったのだと気がついたことから、宇宙的な愛に気がつく。この過程の体験が、後に「意識の超越理論」の創案に繋がる。



撮影：熊野雅夫

82歳の今も、愛用のチェロを片手に国内外で、意識の大切さ、自らの体験をもとにした講演、愛と癒しのワークショップをおこなっており、朝日カルチャーセンターでの連続講座「意識の超越理論」は12年目を継続中。

(有)寺山心一翁オフィス代表、フィンドホーン財団フェロー、日本ウエラー・ザン・ウェル学会副理事長、日本アニマルセラピー協会評議員。

著書『がんが消えた～ある自然治癒の記録』(日本教文社)、『フィンドホーンへのいざない』(絶版:サンマーク出版)。CD「サトリックプラクティス」DVD他。

<http://www.shin-terayama.jp/>

★清水 友邦 (しみず・ゆうほう)

1953年、岩手県盛岡市生まれ。子供の頃から自分が誰なのか疑問を持ち、探求の道に入る。

80年代から世界各地の聖地を巡礼、その間、ヨガ、気功、瞑想、ボディワーク、呼吸法などの各種身体技法を学び、全国各地で呼吸道のワークショップと講演をおこなっている。



出雲大社の奉納撮影をご縁に全国の神社、縄文・弥生遺跡を訪問して日本人の意識のパラダイムシフトと持続可能な社会への提言として2017年10月に「よみがえる女神」を出版。

著書「覚醒の真実」「よみがえる女神」(ナチュラ ルスピリット刊) 共作DVD「十三姫物語」(ホツマ出版)

イーハトーブ心身統合研究所主宰

<http://iihatobu.com>